

令和5年度 浜松市立県居小学校 学校評価

I 令和5年度の取り組み（重点項目）

＜知＞学びいっぱい	＜徳＞笑顔いっぱい	＜体＞元気いっぱい
<p>「自分の考えをもち、主体的に活動できる子の育成」</p> <p>○主体的に学びあう子の育成…きく力の育成、自分から進んで学び、活動する子の育成、体験的な学習や問題解決的な学習の充実</p> <p>○確かな学力の定着…基礎基本の定着、分かる授業の構築、個に応じた支援の充実、ICT活用の推進</p> <p>○心と表現力を豊かにする教育活動…「県居に学んだことを誇りに思う活動」の推進、豊かな知性と感性を伸ばす読書活動</p>	<p>「自分を大切にし、他を思いやる心の育成」</p> <p>○自己肯定感を育む学校生活の充実…どの子も自分らしさを発揮できる居場所づくり、道徳教育の充実</p> <p>○発達支援教育の充実…個のニーズに合わせた温かな学級づくり、保護者との連携</p> <p>○特別活動の充実…目的を意識した係・委員会活動や行事の在り方、異年齢交流の充実</p> <p>○認め合い安心できる学級づくり…いじめの未然防止・早期発見・早期対応、思いやりのある温かな人間関係づくり</p>	<p>「規範意識の育成と、安全意識の向上」</p> <p>○基本的生活習慣・規範意識の育成…進んで気持ちのよいあいさつができる子の育成、「県居っ子の生活」に基づいた生活ルールの定着</p> <p>○体力の向上…運動することの楽しさや喜び、達成感を味わう学習活動、事故・けがの防止</p> <p>○食育・保健指導の充実…主体的な健康の維持増進、保護者と連携した食育・保健指導</p> <p>○安全意識の向上…自他の生命を守る意識を育む指導、情報モラル教育の推進</p>

II 自己評価

○児童・職員・保護者の評価

	質問項目	達成率（％）		
		児童	保護者	職員
知	主体的に学び合う子の育成	92.4	93.5	95.2
	確かな学力の定着	93.4	91.7	95.2
	心と表現力を豊かにする教育活動	87.3	96.3	95.2
徳	自己肯定感を育む学校生活の充実	87.1	90.3	95.2
	発達支援教育の充実	/	84.3	100
	特別活動の充実	93.6	92.4	90.5
体	認め合い安心できる学級づくり	92.9	86.6	100
	基本的生活習慣・規範意識の育成	91.0	86.6	76.2
	体力の向上	94.4	90.1	85.7
	食育・保健指導の充実	/	/	/
	安全意識の向上	95.3	84.1	92.9

○分析・考察・改善案

<p>＜アンケートより＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの項目で80%を超えていたことから本校の取り組みが適切に行われていたと考えられる。 ○あいさつができる子の育成が課題である。今後、地域や保護者とも協力して改善を図ってきたい。 <p>＜学力・学習状況調査の結果より＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、算数共に全国平均を上回るよい結果だった。 ○多くの条件を満たす文を作文したり、必要な情報を取り出して問題を解決したりする力に課題がある。授業の中で課題につながる問題を計画的に取り入れていきたい。 <p>＜いじめ防止基本方針より＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県居小いじめ防止基本方針」に基づいて対応をすることができた。 ・いじめの未然防止、早期発見に努めたことにより重大事案につながるいじめがなかった。 ○今後も丁寧に対応をし、関係機関と適切に連携を図ってきたい。 <p>＜キャリア教育について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を中心に校内研修を進めたので、教師、児童ともにキャリア教育への理解を深めることができた。 ○教科のねらいを大切にしながら、キャリア教育の力を意識して指導を進めていきたい。
--

○キャリア教育への評価（児童）

質問項目	達成率（％）		
	低	中	高
「キャリア教育の4つの力」を知っている	91.2	80.1	79.2
「キャリア教育の4つの力」が身に付くよう、がんばった	86.7	80.8	74.6
学んでいる途中を大切に、粘り強く努力した	85	83.4	79.2
自分の考えをもち、友達に伝えた	73.7	79	80.4
友達と進んで関わり、考えを広めたり、深めたりした	78.7	82.3	82.9
学んだことを自分の生活に生かしたり、将来どんな自分になるか考えたりすることができた	82.5	73.5	78
学習や活動の中で、「キャリア教育の4つの力」について振り返ることができた。	82.5	79	63.4
学習や活動が、未来の自分につながると感じた	75	81.2	76.7
めあてをもって取り組み、キャリアパスポートでそれについて振り返った	84.9	85.6	67

○いじめに関するアンケート（児童）

質問項目	「いいえ」 （％）
あなたは今、困っていることがありますか。	90.8
あなたは今、つらい思いをしている友だちを知っていますか。	96.2

IV 学校運営協議会による学校関係者評価

<p>＜アンケートについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表などを恥ずかしがる児童がいるので、児童の発達段階や特徴に合わせた指導を心掛けてほしい。 ・発達支援への評価が低い。取り組みを保護者に発信していく必要がある。 <p>＜学力・学習状況調査の結果について＞</p> <p>＜いじめ防止基本方針への取り組みについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っていることがある児童が10%近くいる。学校でのフォローをしっかりと行ってほしい。 <p>＜キャリア教育について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアへの取り組みは評価できるが、もっと保護者へ地域へ情報の発信をした方がよい。 ・高学年の方が評価が低い。本当は高くなるべきである。 ・自分が将来何になりたいかを意識する場面を学校で作ってほしい。
--

○キャリア教育への評価（職員）

質問項目	達成率 （％）
キャリアで育てたい力を児童と共有した	85.6
キャリア年間指導計画を基に計画的に指導した	85.6
主体的・対話的で深い学びとキャリア教育の関連性を理解したうえでキャリア教育の推進を図った	75
学校での学びと社会へのつながりを意識したり、将来の自分の生き方について考えたりできる学習や活動を展開した	85.6
学習や活動の中で「キャリアで育てたい力」について振り返ることができる場を設定した	92.7
「学びが社会や将来の生活、職業につながっていること」を指導した	71.4
キャリア教育の実践を記録し、振り返ることのできるキャリアパスポートを作成した	92.8

○いじめに関するアンケート（保護者・職員）

質問項目	達成率	
	保護者	職員
（学校は）いじめのない楽しい学校生活が実現できるように努めている。	86.6	100

V 今後の改善方策

<p>＜アンケートについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年のうちから発表できる機会を作り、抵抗を少なくしていきたい。また、ICTなどを活用して挙手発言以外にも自分の考えを発信できる場面を作っていきたい。 <p>＜学力・学習状況調査の結果について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中に意図的に発展問題を取り入れ、情報を取捨選択する機会を作っていきたい。 <p>＜いじめ防止基本方針への取り組みについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もいじめ防止基本方針に則り、きめ細やかな支援をしていきたい。行為だけでなく、その行為につながる背景にも着目して支援をしていきたい。 <p>＜キャリア教育について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの力を教師が意識して授業や行事に取り組んでいく。 <p>＜全体＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を発信する機会を増やし、保護者や家庭にも理解と協力をお願いしていく。
--